

とうきょう すくわく プログラム活動報告書

活動のテーマ	物質の変化
テーマの設定理由	去年から発展させ、粉が溶けていく様子や粉の変化、色の変化や触感の変化などを感じ、新たな発見、気づきを得るため

施設番号	66-1487
施設名	子どもの森ゆうぱーく保育園
施設所在地	南町田4-33-1
法人名	貴静会

<h3>活動スケジュール</h3> <ul style="list-style-type: none"> ①2025.08.12 バスボム作り ②2025.08.14 バスボム溶出実験 ③2025.08.15 インスタントスノー遊び ④2026.02.18 バスボム作り(型抜き) ⑤2026.02.24 バスボム遊び ⑥2026.03.26 ふわふわスライム作り 

<h3>活動の内容</h3> <ul style="list-style-type: none"> ①バスボムを自分たちで製作する ②バスボムを色々な条件で溶かして、溶け方に違いがあるか、観察する ③インスタントスノーを使い、同じ白い粉でも溶けるものと溶けないものがあるのを知る。また、雪の感触を楽しむ。 ④バスボムを自分たちで作り、型嵌め遊びをする ⑤バスボムをいろんな方法で溶かしてみる ⑥ホウ砂水、色水、液体のりを混ぜて、ゼリーのような感触をたのしみ、その後シェービングフォームを混ぜてふわふわのスライムを楽しんだ
--

<h3>活動のための準備・環境設定</h3> <ul style="list-style-type: none"> ①バスボムの材料の計量、袋詰め。重曹、クエン酸、食紅、香料、中に入れる玩具の準備。 ②水温による違いを観察するため、氷水、常温水、お湯(40度程度)を準備。 ③色々な色の雪を作るための色水の準備。インスタントスノー、食紅、たらい、ビニールプールの準備。 ④バスボムの材料や粘土の型などを準備。 ⑤たらい、バット、霧吹き、ビーカーなど溶かす容器を準備。 ⑥色付きホウ砂水、液体のり、ポンド、シェービングフォーム、ハンドソープ、混ぜる用にバット、スプーンを準備。汚れても構わないように机や床などを養生。

<h3>活動中の子どもの姿(声)・子ども同士や保育者との関わり</h3> <p>①二種類の粉の触り心地の違いや、どうやったら粉が団子状になるかを考えながら製作していた。「こっちの粉はざらざらしてる」「こっちはさらさらで粉っぽい」など感触を確かめていた。水を入れると徐々に団子状になり、揉んで混ぜて握ると固まることに気づき、丸めようと健闘していた。団子にならないとわかると「水を入れて」と団子にするために水が必要なことを理解している様子であった。</p> <p>②どうやったらバスボムが早く溶けるか、クイズ形式で子ども達に選んでもらった。氷水、常温水、お湯、プールの水のうち、一番早く溶けると思うたらいに集まってもらったところ、お湯が一番多く、ついで常温水、氷水、プールの水で子どもたちが集まった。理由を聞くと「お湯:お風呂だと良く溶けるから。あったかいから溶けると思う」「常温水:水でも前に溶けたから。お風呂だと溶けにくいと思うから」「氷水:冷たい方が溶けると思う」「プールの水:なんとなく溶けそう」とのことだった。結果はお湯が一番早く、正解したことに喜んでいた。</p> <p>次に早く溶かす方法を子どもたちに聞いたところ、「叩いて細かくする」「こすって小さくする」「そのまま」の声が出た。そこに保育者の「揺らして溶かす」を加え、4択で溶かす実験をした。結果は叩いて細かくするが最も早く、何もしないが遅かった。</p> <p>③インスタントスノーが水を入れて膨らむ様子を見せると「膨らんだ!」「すごい、たくさんになった」と驚きの声が聞こえた。実際に触ると「冷たくはないね」「べとべとしてる」と感触遊びを楽しんだ。色水で色を付けた雪も混ぜて、見立て遊びをしたり、指だけでなく、裸足で踏んだりして、五感を使って楽しんでいた。</p> <p>④自分で最初から作れたことに自信を持った様子であった。型にはめるのに苦戦したが楽しめていた。</p> <p>⑤色が混ざるのを楽しんだり、掌で少しずつ溶けていく様子を観察するのを楽しんでいた。</p> <p>⑥手が汚れるのを嫌がる児がいるため、くっつきにくい雲スライムを採用したのが功を奏し、全員が素手で丸めて楽しむことができていた。</p>

<h3>振り返り</h3> <p>①水の調整が難しかったが、子ども達だけでも団子状に上手にできていたと思う。次回作るときはジップロックに材料を入れて混ぜるようにすると粉が飛び散らず作れると思う。</p> <p>②子どもたちが早く溶かす方法を考えて選ぶことができていたのがよかった。年長児の意見に左右されるところもあったが、自分はどう思うという意味もみえた。今後も、先に保育者が選択肢を出すのではなく、子ども達から意見を聞いて選択肢の幅を広げていきたい。</p> <p>③好きなように遊んでもらったが、人数が多かったため、遊び方に制限ができてしまった。次回はもう少し少人数での実施とし、床にシートを引いて片付け時間の短縮を図る。</p> <p>④前回よりも上手に丸めることが出来た。ドライヤーを使って乾かすと早く乾燥することが体験できた。型に入れるのが難しかったため、アルミのようなもっと固い型があればよかった。</p> <p>⑤溶かし方によって溶けるスピードが違うことを体験できた。色の混ぜり方を楽しむことができた。砂を混ぜると濁るので、最初に混ぜないことを伝えるとよかった。</p> <p>⑥かもめ組と一緒にやったこともあり、スムーズにスライムをつくることができた。伸ばして遊ぶこと、形をつくること、伸ばすために床を使ったりするなどダイナミックな遊びができて刺激を受けて良かったと思う。</p>
--